

令和7年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

(現2年) 調べたり、まとめたりする活動の際に、図鑑等の資料を必要数用意することで、児童が学習に取り組める時間をしっかりと確保することができた。また、学習カード等を学年の実態に応じて作成することで、調べたことをまとめる技能を高めることができた。

(2) 課題

(現2年) 植物や動物の観察をする際に、細かく観察したり、観察したことをまとめたりする技能が高まっていない。興味関心をもって、観察をすることができるよう、日常的に身近なものに触れる機会を増やしていく必要がある。

2 授業改善のポイント (観点別)

低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身近な環境や生活との関わりの中で、観察、発見、体験を通して、必要な知識や技能を習得できるようにする。 ・身近なものに触れる活動を取り入れ、実感を伴った理解を促す。	・体験活動だけでなく、そこで感じたことや考えたことを、言葉や絵、文章などを用いてまとめたり、まとめたことを発表したりする活動において、表現する力を育む。 ・教師の例示や友達の発表から、表現方法について学び、バリエーションを増やす。	・身近な環境を対象とした活動を計画したり、動画資料を活用したりして、十分に活動に対する意欲を高める。